

## 令和5年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

### ■ 調査概要

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 助成団体   | 公益財団法人日本オリンピック委員会 |
| 間接助成団体 | 公益財団法人全日本柔道連盟     |
| 事業細目名  | スポーツ国際貢献・協力活動事業   |
| 事業名    | ウクライナ招へい事業        |
| 助成金額   | 2,148,000 円       |

### ■ 調査内容

令和5年度スポーツ団体スポーツ活動助成を活用し実施される、公益財団法人全日本柔道連盟の「ウクライナ招へい事業」について実施状況調査を行いました。

本事業は、令和5年12月4日から12月16日の期間、講道館にて世界約50の国と地域の選手が参加する国際合宿へ、ウクライナ男子ジュニアチーム5名（コーチ1名、選手4名）を招へいし、渡航や滞在中の国際合宿参加に係る支援を行うものです。

ウクライナは令和4年よりロシアから侵攻を受け、競技生活はもとより日常生活を送ることも厳しい状況が続いています。日常的に断水や停電が起き、極寒の中練習する選手や柔道場が空爆により破壊され練習環境を奪われてしまっている選手もいるとのことでした。

全日本柔道連盟では、以前からチャリティーオークション等で得た資金をもとに、ポーランドに避難しているウクライナ選手に対して柔道衣を贈る等の支援を行っています。ウクライナより継続的な支援を要望されていることから、本助成を活用し、練習の環境を確保すること、競技力向上のため世界各国の選手が集う国際合宿への参加を支援することにしたそうです。合宿期間中の練習は当日の選手個人の体調に合わせて自主的に参加することが可能である中、日本のオリンピック金メダリストに乱取りを申し込むなど、ウクライナのジュニア選手が意欲的に練習に励む姿を見ることができました。

本事業に参加したジュニア選手の更なる活躍、及び本事業がウクライナの競技力向上・発展に寄与することを期待します。

（令和5年12月13日往査）

（写真）練習の様子

